

平成 2 1 年 度 事 業 報 告 書

1. 事業規模 (全体)

設置機関	法人部門	仙台大学	明成高校	合計
教職員数	8名	166名	75名	249名
学生 生徒	志願者数	1,161名	1,001名	2,162名
	入学者数	579名	379名	958名
	在籍者数	2,225名	1,098名	3,323名
	卒業者数	502名	363名	865名
(運営種目)	理事(会)		評議員(会)	
役員数	14名		29名	
会議開催数	3回		3回	

2. 事業規模 (機関別)

(1) 仙台大学 <宮城県柴田郡柴田町船岡南2丁目2番18号>

設置学校	学部・コース等	入学者数	在籍総数
仙台大学	大学院 スポーツ科学研究科 ・体育科学領域 ・生涯スポーツ科学領域 ・コーチング科学領域 ・体力科学領域 ・健康福祉科学領域	26	51
	体育学科 ・スポーツコーチングコース ・スポーツトレーナーコース ・スポーツマネジメントコース	333	1,274
	健康福祉学科 ・健康支援コース ・福祉レクリエーションコース	101	477
	運動栄養学科	76	310
	スポーツ情報マスメディア学科	43	113
合計		579	2,225

(2) 明成高校 <宮城県仙台市青葉区川平2丁目26番1号>

設置学校	学部・コース等	入学者数	在籍総数
明成高校	普通科 [全日制課程]	227	755
	調理科 [全日制課程]	109	299
	介護福祉科 [全日制課程]	43	44
合計		379	1,098

3. 役職員の状況

(1) 役員 (平成21年7月1日現在)

理事	評議員	監事
14名	29名	2名

(2) 教職員 (平成21年5月1日現在)

	教員		職員
	専任	非常勤	常勤
法人	—	—	8
大学	89	74	77
高校	60	35	15
合計	149	109	100

4. 事業概要

(1) 法人全体

① 130周年記念事業

・記念事業として、宮城県庁の公文書として保存されている松操私塾開設から第二次世界大戦後の学制改革までの各種届出書を整理し歴史資料として後世に残すとともに、記念講演会などの行事を実施した。

② 施設整備

・仙台大学において受入留学生、海外教育機関との共同研究などによる研究者の来学滞在などに対応するために、本キャンパスに隣接する大学用地に宿泊施設を整備した。

③ 高年齢者雇用安定法の継続雇用に関する宮城労働委員会継続事案

・高校定年退職教員に係る労働委員会継続事案について和解し継続雇用条件を改定し、川平地区の労務を当分の間法人専務理事所管とした。

④ 公的機関による調査などへの対応

・公認会計士監査

受検日	4月3日	4月10日	4月23日	5月26日	6月10日
	8月25日	10月28日	1月22日	3月24日	

(2) 仙台大学

① 大学運営体制

・国際化の進展に対応するために、米国人副学長を中心に「英語でスポーツを語るキャンパスづくり」を標語に、海外研修の推進などを図ることとした。

・スポーツマスメディア研究所活動も本格化し、和歌山・岩手・秋田・山形各県におけるチビッ子タレント発掘事業への支援その他の活動を実施した。

② 現代G Pの取組み

・平成19年に現代的教育ニーズ取組み支援プログラムとして文部科学省の採択を受けた「地域密着型の健康づくり支援システムの構築」事業が最終年度を迎え、3年間の活動状況、G P事業終了後の継続方法その他について最終報告会を開催するなど所定の成果を挙げた。

③ 地域連携

・地元企業東北リコーとの生活習慣病対策に関する覚書締結、仙台市および河北新報社との共催によるスポーツシンポジウム開催その他、各種地域連携を活発に実施した。

④ 大学間連携

・仙台学長会議、学都仙台コンソーシアム、戦略的大学連携支援事業、全国体育系大学学長学部長会議などに参画した。

⑤ 国際交流

・ドイツ共和国オルデンプルグ大学との交流協定締結、米国カリフォルニア州立大学ロングビーチ校その他、各国の高等教育機関との国際交流活動も引き続き進展した。

(交流状況)

(韓国) 国立体育大学、龍仁大学

(中国) 東北師範大学、吉林省体育学院、瀋陽師範大学、上海体育大学

(台湾) 台東大学

(タイ) シーアカリンウィロート大学

(米国) ハワイ州立大学、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校

(ドイツ) オルデンプルグ大学

(ベラルーシ) 国立体育大学

⑥ 学生の活動

・個人では、女子柔道選手の国際大会優勝、男子体操選手・陸上選手の全国大会優勝など、団体では、漕艇部の男女選手の優勝など、引続き各種全国大会での活躍が見られた。バンクーバー冬季オリンピックにも同窓生も含め複数の日本代表が参加したが、期待の女子スケルトン競技では無念の失格となり次回のソチ五輪での雪辱を期すところとなった。

(3) 明成高校

① 学校教育法に基づく学校評価の実施

・義務教育学校長その他外部有識者による外部評価会議を開催し、学校の運営状況等について評価を受けた。

② 農林水産省の助成を得て調理科の食育ファーム教育を推進した。

③ 生徒の活動

・創部5年にして、男子バスケットボール部が全国大会のウィンターカップで優勝する快挙を成し遂げた。その他インターハイ男子陸上競技円盤投げ5位入賞など、男女バスケットボール部、男女体操部、陸上競技部所属の選手の活躍が見られた。

以上

監査報告書

平成22年5月24日

学校法人 朴沢学園
理 事 会 御 中

学校法人 朴沢学園
監 事 岩 崎 悌 二
監 事 恵 美 文 雄

私たちは、学校法人朴沢学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の平成21年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)における財産目録および計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び付属明細表)を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以上